

氏名	小田 和歌子
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博甲第 3015 号
学位授与の日付	平成17年9月30日
学位授与の要件	医歯学総合研究科病態制御科学専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文題目	Analysis of genomic homology of murine gammaherpesvirus (MHV)-72 to MHV-68 and impact of MHV-72 on the survival and tumorigenesis in the MHV-72-infected CB17 scid/scid and CB17 +/+ mice (マウスガンマヘルペスウイルス (MHV)-72とMHV-68間のゲノム類似性の検討とMHV-72感染CB17 scid/scidマウス及びCB17 +/+マウスにおける生存と腫瘍発生に関するMHV-72の影響)
論文審査委員	教授 山田雅夫 教授 森島恒雄 助教授 池田正徳

学位論文内容の要旨

Murine gammaherpesvirus 68(MHV-68)感染マウスはEBV 関連LPDの動物モデルである。MHV-72をMHV-68の遺伝子と比較し、CB17 scid/scid (SCID)とCB17 +/+マウスを用いてMHV-72の感染病理を検討した。MHV-68の塩基配列に基づくprimerによりPCRで増幅したMHV-72-DNAのsequencingを行った。MHV-72はM1? M3 gene以外の領域で増幅され、94%以上の塩基配列が一致した。SCID 35匹とCB17, 68匹にMHV-72を経鼻経口投与、感染後1ヶ月間経時的に屠殺し、残りを2年観察した。感染SCIDの90%は約1ヶ月にて全身性ウイルス感染症で死亡。感染CB17 +/+の肺炎は自然軽快したが、24ヶ月の観察では、感染群と非感染群の生存率 29.4%、61.1%、 $p=0.0127$ 、悪性腫瘍発生頻度 60.3%、22.2%、 $p=0.004$ 等では有意差をみた。しかし、感染CB17 +/+の腫瘍からウイルスDNAが検出されず、MHV-72は腫瘍発生を促進するが、EBV 関連腫瘍とは機序が異なると考えられる。

論文審査結果の要旨

本研究は、マウスガンマヘルペスウイルス-72について、近縁のマウスガンマヘルペスウイルス-68とのゲノムの類似性と相違点を明らかにし、さらにマウスガンマヘルペスウイルス-72をCB17scid/scidマウスとCB17野生型マウスに実験感染し、その病原性と腫瘍原性を、病理学的およびウイルス学的手法により研究したものである。従来ほとんど行われてなかったマウスガンマヘルペスウイルス-72の感染病理と腫瘍原性について重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は、博士(医学)の学位を得る資格があると認める。